

編集・発行

日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society〒500-8601 岐阜市茜部中島2-9
TEL (058)-272-3561
<http://www.gifu.jrc.or.jp/>

赤十字の活動は、皆様からの社資で支えられています。

私たちの社会に、何が起きているのか

— 社会を分断する「不安」の感染 —

新型コロナウイルスの脅威は私たちの日常を変えました。

そして今、第二・第三の感染…「不安と偏見」が世界中に広がりつつあります。

なぜ、
偏見や差別は生まれるの？

「敵（新型コロナウイルス）」は、見えないため不安が高まります。不安はストレスになり、自己防衛本能が働き、自分の心と体を守ろうとして、見えない敵の代わりに他の「誰か」を排除すべき存在と認識します。こうして「偏見・差別」が生まれてしまうのです。さらに偏見は他の不安要素を引き寄せる可能性もあります。この悪循環を断ち切るには、不安に乗っ取られないように対処することが重要です。

「不安」から心を守る5つの方法

落ち着きを取り戻すために、次のような方法を試してみましょう。

- ① まずはリラックス ほっとする時間を作ろう
- ② 熱中できたり心が晴れる活動に時間をさく 運動も効果的！
- ③ この「騒ぎ」から一步引いて、別の視点を持つ人と話をしてみる
- ④ 「その情報は正しい？」冷静に情報の信頼性を考えよう
- ⑤ 食べて(健康的な食事)、寝て(質の良い睡眠)、自分をいたわろう



まるで第二・第三の“感染”

ウイルス発生

生物学的
「感染症」

不安や恐れ

心理的
「感染症」

偏見・差別の表出

社会的
「感染症」

つい陥ってしまいがちな「不安」の感染に気づき、セルフケアに努めましょう

赤十字NEWS 4月号 No.959 より

CONTENTS

- 新型コロナウイルス感染症対応実施中 2・3
- 献血バス配車の受入募集 4
- 赤十字講習会のご案内(8月～10月分) 4
- 義援金・救済金の受付状況 4

新型コロナウイルス感染症 対応実施中

日本赤十字社では、「人のいのちと健康を守る」という使命のもと、
全国の赤十字施設を挙げて新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動に取り組んでいます。

患者の受入れ・救護班の派遣

日本赤十字社は、全国の赤十字病院を中心に新型コロナウイルス感染症の治療および拡大防止のために取り組んでいます。

岐阜赤十字病院は、県内唯一の第一種感染症指定医療機関として、県内で感染者が確認された当初から患者を受け入れてきました。また、増加する患者を受け入れるために、病棟に臨時の専用フロアを開設しました。

医療の最前線では、目に見えないウイルスの脅威と闘いながら新型コロナウイルスの治療にあたっています。

日本赤十字社では、横浜港に停泊したクルーズ船の乗客・乗員の健康管理を目的に2月10日～3月1日の期間、救護班などを派遣しました。

また、中国武漢市からのチャーター便による帰国者およびクルーズ船からの下船者（PCR検査陰性）の経過観察を支援するため、一時滞在施設に医療職員を派遣しました。

- クルーズ船派遣職員数
延べ**142**人 救護班：**67**人 DMAT（災害派遣医療チーム）：**75**人
- 一時滞在施設への派遣職員数
延べ**113**人 赤十字病院**18**施設から派遣



▲岐阜赤十字病院



▲一時滞在施設での活動風景

心温まるご寄付・ご支援ありがとうございます

〈高山赤十字病院〉 麗江市人民医院からマスク1万枚をいただきました

高山市と中国雲南省麗江市は2002年から友好都市連携を結んでおり、当院は麗江市人民医院の医師を協力交流研修医として受け入れています。この度、麗江市人民医院から当院にマスク1万枚の寄付をいただきました。箱には「千里同好、堅于金石」（意味：遠く離れていても心は一つ、友情は金石の如く固い）とメッセージが添えられていました。病院長は「新型コロナウイルスはいまだ有効な治療がない未知のウイルスであり、無自覚での感染のケースもある。マスクをすることで自分から人に移さないという気持ちが大事。今の時期にマスクを寄付いただいて非常にありがたい。」と感謝を述べました。

国境を越えた心温まるご寄付をいただき誠にありがとうございます。当院の感染予防対策に有効活用させていただきます。

高山市天満町 3-11 電話：0577-32-1111（代表）



▲高山市役所にて
清島病院長(左) 國島高山市長(右)

〈岐阜赤十字病院〉 匿名による寄付をいただきました

5月8日(金)正午ごろ、匿名の女性が現金の入った封筒を医事課窓口の職員に「受け取ってください」と手渡してくださいました。受け取った職員がお名前を尋ねたところ「結構です」と言って病院を出られました。病院長は「お礼が言いたいので名乗り出てほしい」と呼びかけています。

岐阜市岩倉町 3-36 電話：058-231-2266（代表）



全て掲載できませんが、多くの方々からご寄付・ご支援をいただき誠にありがとうございます。

感染予防啓発活動

日本赤十字社では、新型コロナウイルスを正しく知り、感染症予防や差別や偏見をなくするための教材を作成したほか、国際赤十字と協力し、みなさまの「心の健康」を保つヒントとなるサポートガイドを作成しました。

また、岐阜県支部では、県内すべての小・中・高・特別支援学校へこれらの教材を提供しました。

日本赤十字社が作成した教材等

教材

- 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
～負のスパイラルを断ち切るために～
- ウイルスの次にやってくるもの

サポートガイド

- 感染症流行期にこころの健康を保つために



神戸町立下宮小学校での取り組み

安八郡神戸町立下宮小学校では、2年生以上の児童が『ウイルスの次にやってくるもの』を視聴しました。授業後には、「自分に今できることは、医療関係者に迷惑をかけないために、感染予防をすることだと思います。」「感染した人に対して差別したり嫌悪感をもったりしないようにすることが大切だと思います。」といった感想をもちました。



手作りマスクを寄贈しました

新型コロナウイルス感染防止のため、岐阜県内の赤十字奉仕団や青少年赤十字加盟校メンバーが手作りマスクを寄贈しました。

〈東白川村赤十字奉仕団が手作りマスクを東白川村に寄贈しました〉

新型コロナウイルスの感染予防に役立てばと赤十字奉仕団団員23人が布マスクを作製しました。

5月1日に東白川村役場で贈呈式があり、奉仕団委員長らが村長へ手作りマスク344枚を寄贈しました。

手作りマスクは、5月25日にも458枚が寄贈され、一人暮らしのお年寄りや高齢世帯、小中学生や保育園児、社会福祉施設等に配布されました。



▲贈呈式の様子



▲手作りマスク

〈大垣市赤十字奉仕団が手作りマスクを大垣市に寄贈しました〉

大垣市から布とひもの提供を受け、大垣市赤十字奉仕団が児童生徒用の立体型マスクを手作りしました。

4月7日に大垣市役所で贈呈式があり、大垣市赤十字奉仕団を含む5団体が市長らへ手作りマスク1,500枚を寄贈しました。

寄贈された手作りマスクは、大垣市内32の小中学校や留守家庭児童教室に配布されました。



▲5団体代表者による贈呈式の様子

〈JRCメンバーが手作りマスクを寄贈しました〉

多治見市立陶都中学校の小谷実夢さん(中3)は、「自分にできることで、周りの人たちを支えよう。」という気持ちで布マスクを作りました。

作った50枚の布マスクは、使う人のことを考えて、サイズが分かるようにした上で、一つ一つ丁寧に包装して、多治見市の社会福祉協議会に寄贈しました。



献血バス配車の受入募集

〈岐阜県赤十字血液センター〉

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です

新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響により、献血バスの配車を延期される事業所、イベントの中止等が相次いだことで、血液の不足が懸念されています。

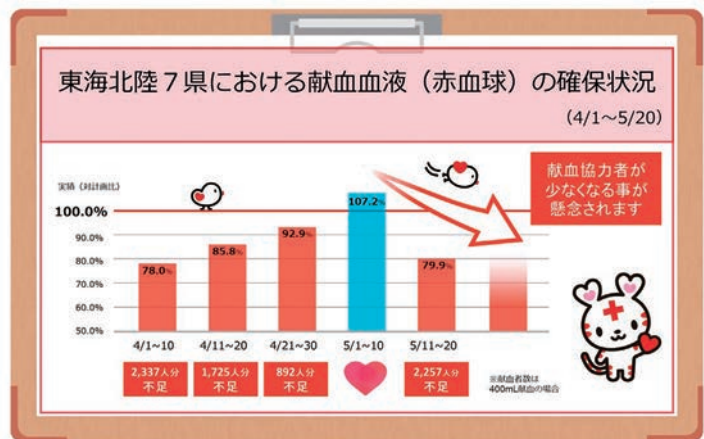
輸血用血液は長期間保存することができず、絶えず献血のご協力を必要としています。献血バスを受入可能な団体・企業様がお見えでしたら、是非当センターまでご連絡ください。「いのちを救うボランティア」である献血にご協力をお願いします。

なお、献血バスの配車目安やお問い合わせについては、こちらからご確認ください。

連絡先

【献血推進課】

058-272-6927



岐阜市茜部中島 2-10 電話：058-272-6911 (代表)

赤十字講習会のご案内【令和2年8月~10月版】

講習の種類	開催日	会場
救急法基礎講習	8月5日(水)	高山赤十字病院 3階 大講堂
救急法救急員養成講習	8月19日(水)・20日(木)	高山赤十字病院 3階 大講堂
健康生活支援講習支援員養成講習	10月4日(日)・11日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
災害時高齢者生活支援講習(短期)	8月6日(木)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと 4階 会議室
こころとこころの架け橋講習(短期)	10月8日(木)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと 4階 会議室
リラクゼーション&癒しのハンドケア(短期)	8月3日(月)	岐阜赤十字病院 南館 2階 講堂
	9月3日(木)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと 4階 会議室
	10月6日(火)	岐阜赤十字病院 南館 2階 講堂
地域で支える認知症(短期)	10月15日(木)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと 4階 会議室
	9月6日(日)・13日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
幼児安全法支援員養成講習	10月17日(土)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
子育て支援ボランティア養成講習(短期)	9月18日(金)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
防災ボランティア養成研修会	8月23日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
こころのケア研修	9月30日(水)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
	10月21日(水)	高山赤十字介護老人保健施設はなさと 4階 会議室

※ 講習の一部を掲載しています。詳細及び申込方法は、日本赤十字社岐阜県支部ホームページをご覧ください。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる可能性がございます。

※ 詳しい内容については、事業推進課までお問い合わせください。

義援金・救援金の受付状況(令和2年5月31日現在)

義援金名	受付期間	受付金額
東日本大震災義援金	平成23年3月14日~令和3年3月31日	2,095,128,427
平成28年熊本地震災害義援金	平成28年4月15日~令和3年3月31日	205,148,265
平成29年7月5日からの大震災災害義援金	平成29年7月7日~令和3年3月31日	16,725,733
平成30年7月豪雨災害義援金(広域)	平成30年7月10日~令和3年6月30日	22,322,741
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金 ※終了	平成30年9月11日~令和2年3月31日	12,236,349
令和元年8月豪雨災害義援金	令和元年9月2日~令和2年8月31日	676,981
令和元年台風第15号千葉県災害義援金 ※6月末で終了	令和元年9月18日~令和2年6月30日	1,846,450
令和元年台風第19号災害義援金	令和元年10月16日~令和3年3月31日	52,973,158
中東人道危機救援金	平成27年4月1日~令和3年3月31日	183,962
バングラデシュ南部避難民救援金	平成29年9月22日~令和3年3月31日	196,149

※ 義援金・救援金については、受付開始から令和2年5月31日入金分までの合計となっています。